

大垣市市民モニター調査結果

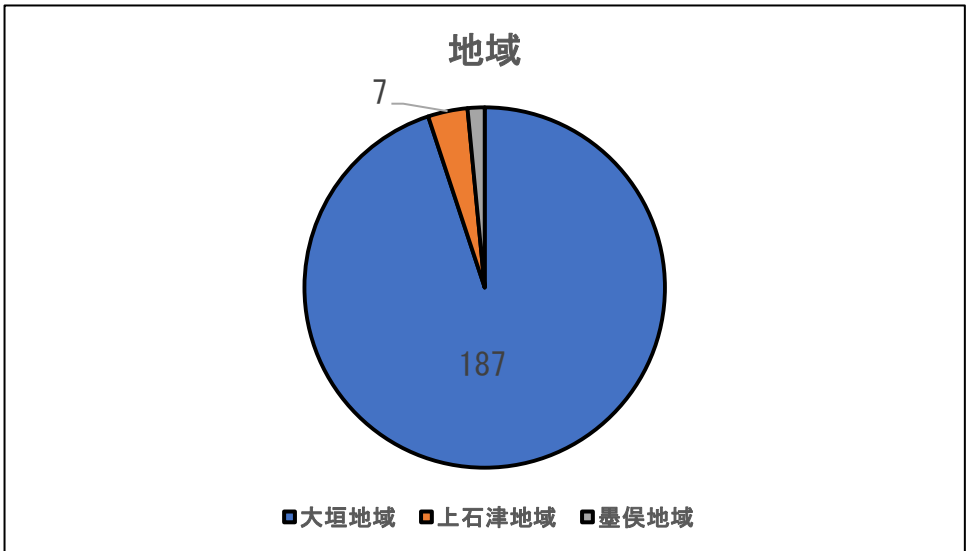
- 1 調査名 【第3回 市民モニター】
大垣市第2次農業ビジョン（後期）策定に関するアンケート調査（消費者用）
- 2 担当課 経済部農林課
- 3 調査目的 今後の農業振興を図ることを目的に「大垣市第2次農業ビジョン（後期）」の策定を予定しており、その基礎資料とするため。
- 4 調査期間 令和8年8月10日（月）～令和8年8月23日（日）
- 5 調査対象等
 - (1) 調査対象 市民モニター登録者 553人
 - (2) 回答者数 197人
 - (3) 回答率 35.6%
 - (4) 回答内容 別紙のとおり

【第3回 市民モニター】大垣市第2次農業ビジョン（後期）策定に関するアンケート調査（消費者用）（回答集計）

回答者属性

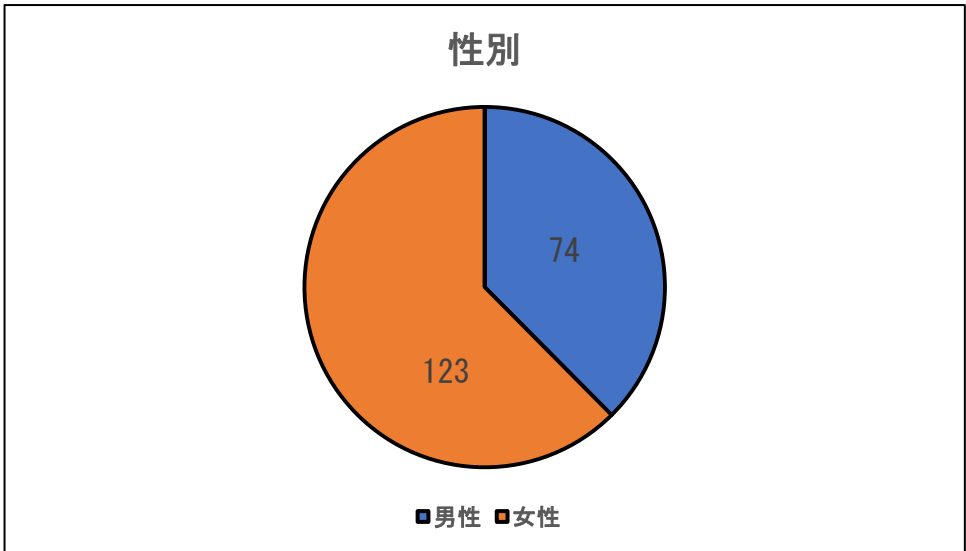
Q2【地域】

項目	回答数
大垣地域	187
上石津地域	7
墨俣地域	3
総計	197



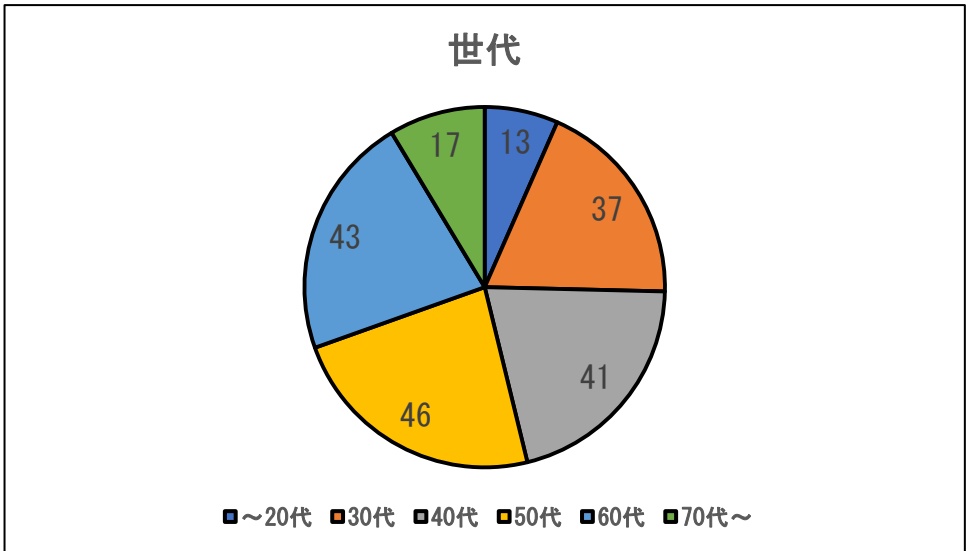
Q3【性別】

項目	回答数
男性	74
女性	123
未回答	0
総計	197



Q4【世代】

項目	回答数
～20代	13
30代	37
40代	41
50代	46
60代	43
70代～	17
総計	197

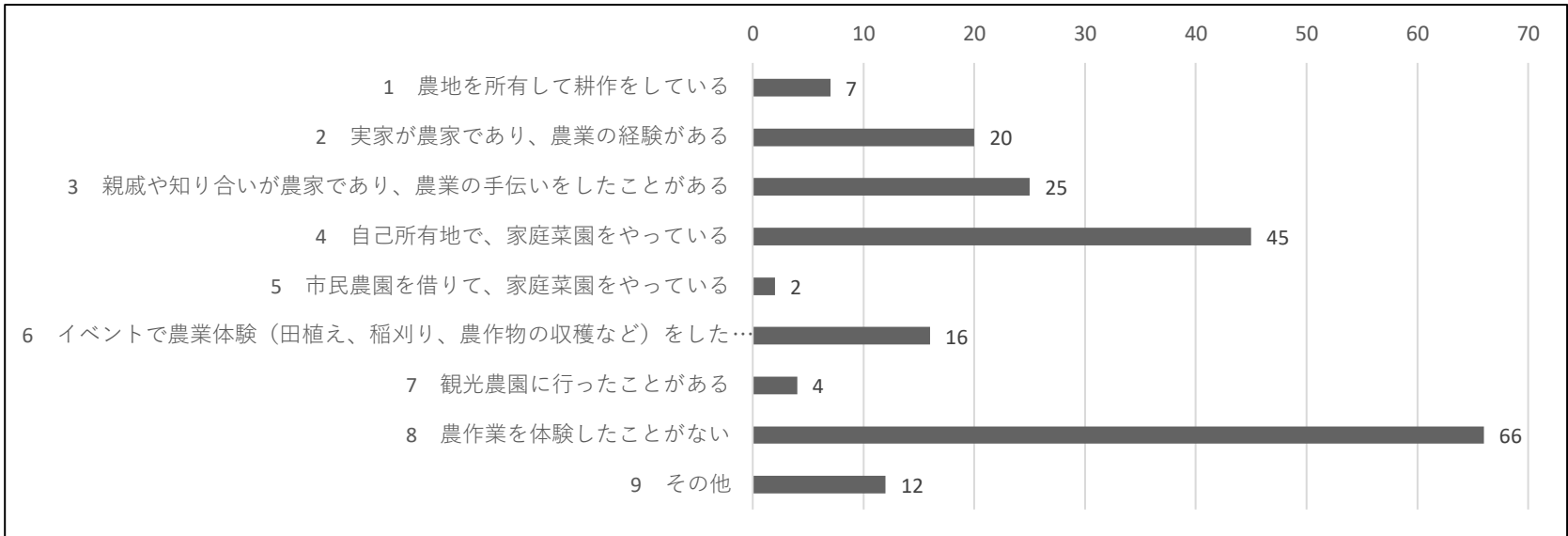


Q5 あなたは農作業の経験がありますか。どれか1つを選んでください。

項目	回答数
1 農地を所有して耕作をしている	7
2 実家が農家であり、農業の経験がある	20
3 親戚や知り合いが農家であり、農業の手伝いをしたことがある	25
4 自己所有地で、家庭菜園をやっている	45
5 市民農園を借りて、家庭菜園をやっている	2
6 イベントで農業体験（田植え、稲刈り、農作物の収穫など）をしたことがある	16
7 観光農園に行ったことがある	4
8 農作業を体験したことがない	66
9 その他	12
総計	197

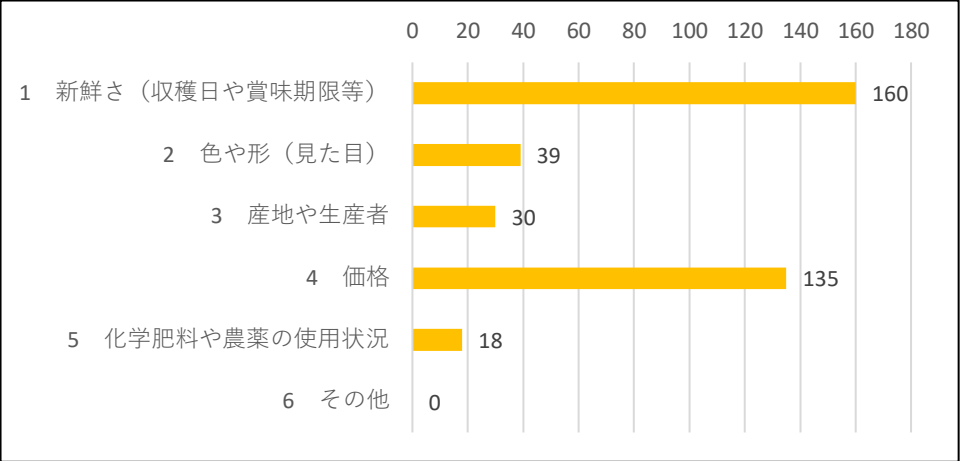
その他意見（抜粋）

- ・今年家の中で水耕栽培を始めた。
- ・当時、大垣農業高校に通っており、授業の一環で体験した。
- ・家に柿畑はあったが農家ではない。



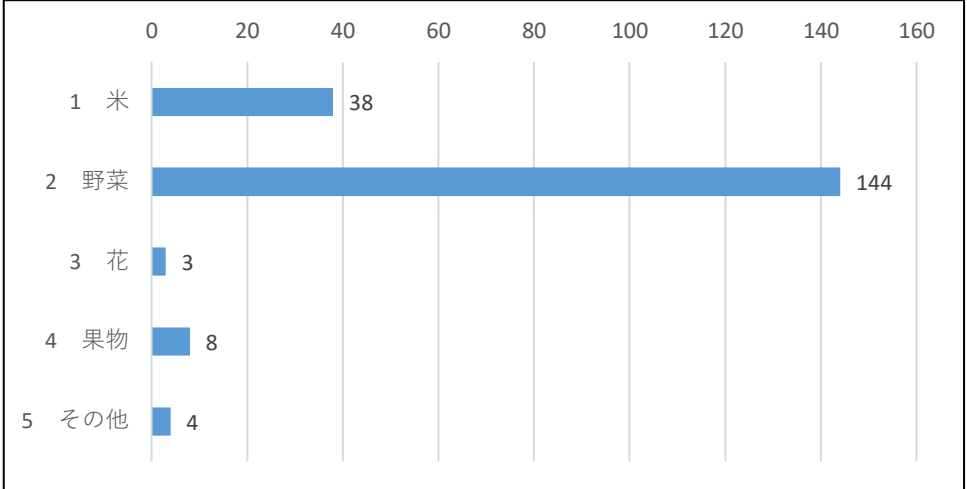
Q6 農産物を購入するとき、重視することは何ですか。主なものを2つまでお答えください。
(複数選択可)

項目	回答数
1 新鮮さ（収穫日や賞味期限等）	160
2 色や形（見た目）	39
3 産地や生産者	30
4 価格	135
5 化学肥料や農薬の使用状況	18
6 その他	0
総計	382



Q7 あなたが普段よく購入する地元農産物を1つだけお答えください。

項目	回答数
1 米	38
2 野菜	144
3 花	3
4 果物	8
5 その他	4
総計	197

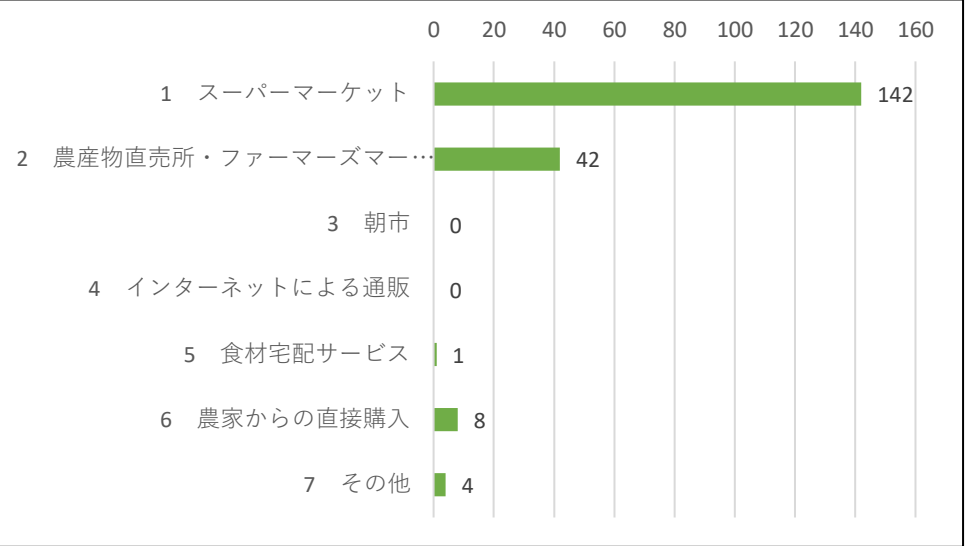


その他意見（抜粋）

- ・玉子
- ・地元にはこだわらない。
- ・米・野菜・果物はシステムをサービスしている他市の農家から定期的に購入している。切れた場合は地元のスーパーで購入。
- ・何が地元産か不明。

Q8 Q7でお答えいただいた地元産の農産物を、普段どこで購入していますか。1つお答えください。

項目	回答数
1 スーパーマーケット	142
2 農産物直売所・ファーマーズマーケット	42
3 朝市	0
4 インターネットによる通販	0
5 食材宅配サービス	1
6 農家からの直接購入	8
7 その他	4
総計	197

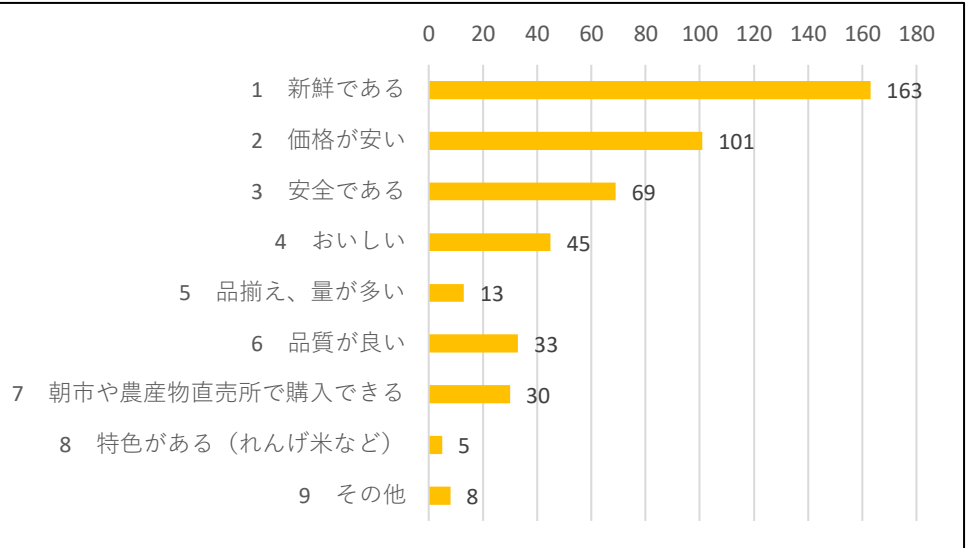


その他意見（抜粋）

- ・ドラッグストア
- ・自販機
- ・岐阜県という意味では県内他市農家から直接購入。大垣市という意味ではスーパーで購入するがおいしい。
- ・営農組合

Q9 地元産の農産物について、良いと感じることは何ですか。主なものを3つまでお答えください。
(複数選択可)

項目	回答数
1 新鮮である	163
2 価格が安い	101
3 安全である	69
4 おいしい	45
5 品揃え、量が多い	13
6 品質が良い	33
7 朝市や農産物直売所で購入できる	30
8 特色がある（れんげ米など）	5
9 その他	8
総計	467



その他意見（抜粋）

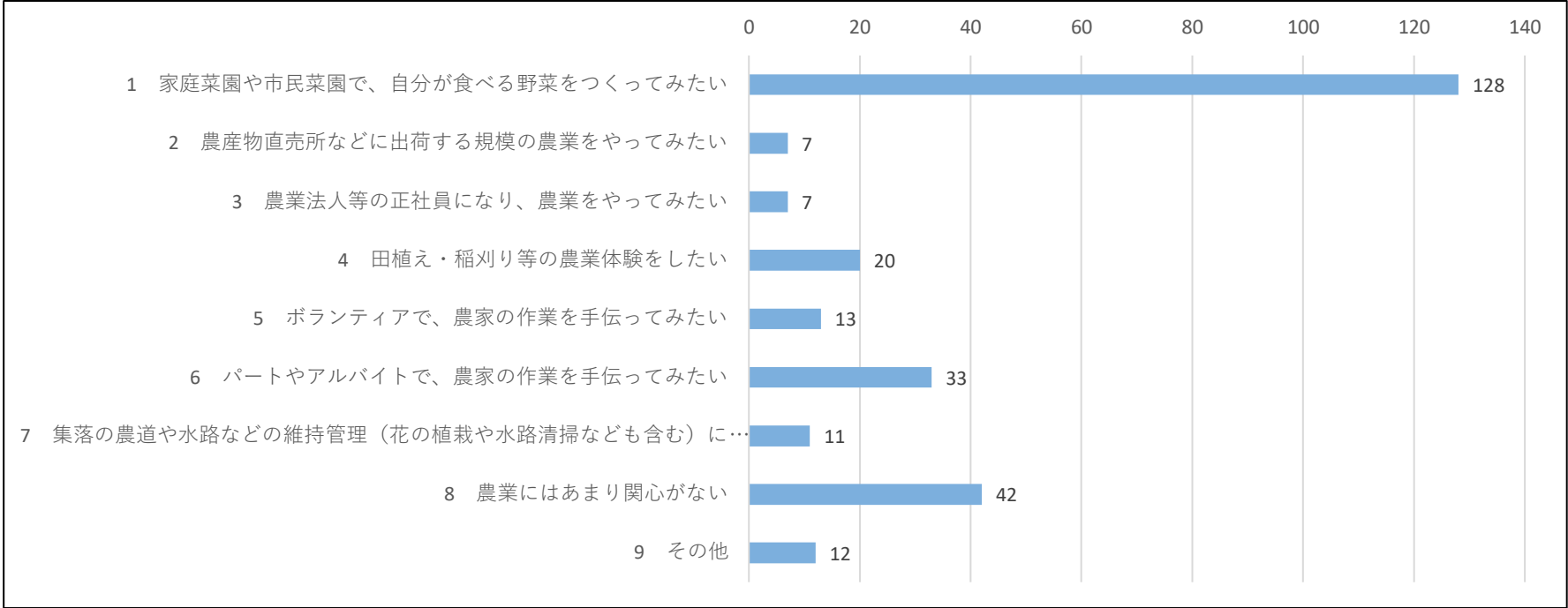
- ・安心して買える。
- ・生産者の顔が見える安心感・信頼性。
- ・地域経済循環と環境負荷の軽減（地産地消）。

Q10 あなたが農業に関わるとすれば、どのように関わりたいですか。主なものを3つまでお答えください。
(複数選択可)

項目	回答数
1 家庭菜園や市民菜園で、自分が食べる野菜をつくってみたい	128
2 農産物直売所などに出荷する規模の農業をやってみたい	7
3 農業法人等の正社員になり、農業をやってみたい	7
4 田植え・稲刈り等の農業体験をしたい	20
5 ボランティアで、農家の作業を手伝ってみたい	13
6 パートやアルバイトで、農家の作業を手伝ってみたい	33
7 集落の農道や水路などの維持管理（花の植栽や水路清掃なども含む）に参加したい	11
8 農業にはあまり関心がない	42
9 その他	12
総計	273

その他意見（抜粋）

- ・所有する畑で栽培する野菜の種類を増やしたい。
- ・自ら農業に関わりたいとは思わない（食べる専門）。
- ・現在は兼業農家をしています、約一町歩を家族に助けてもらい何とか頑張っています。
- ・直販農家の受注・出荷・請求システムをサービスして支援している。同じことを大垣でもできるならやりたい。

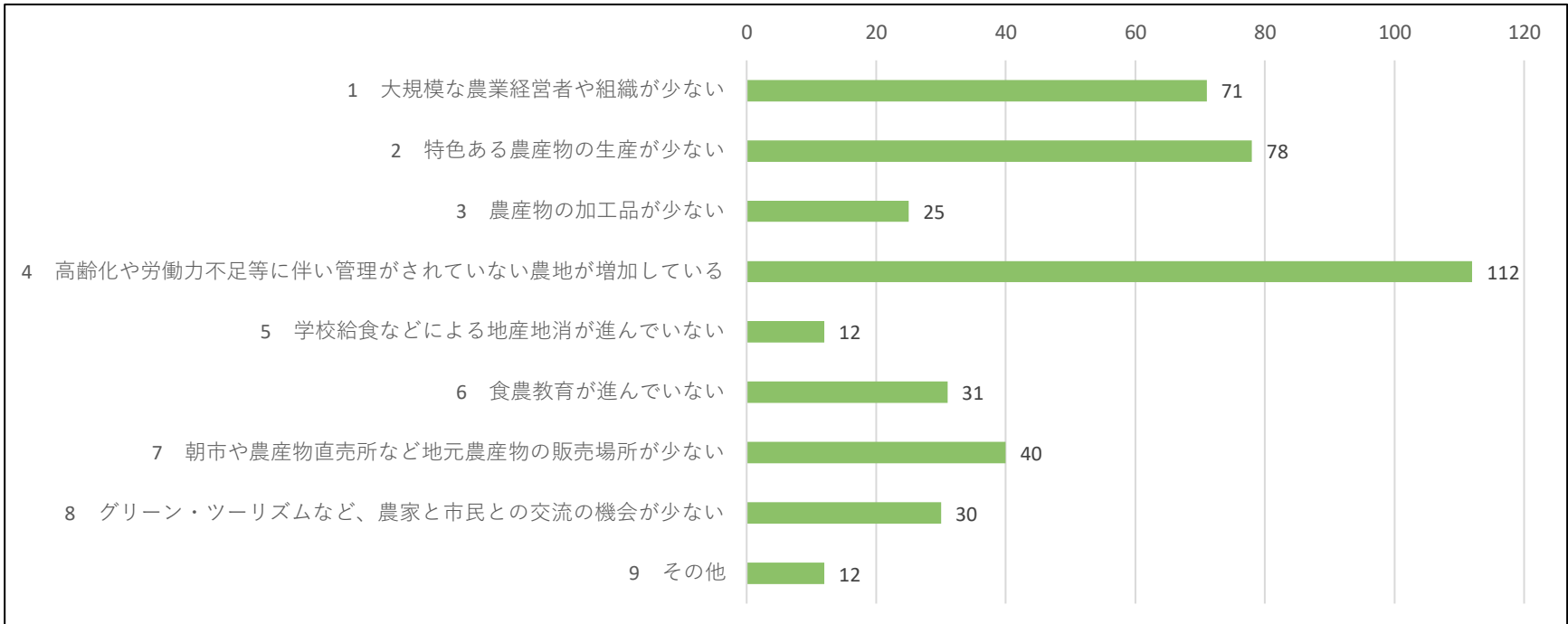


Q11 大垣市農業は、どのような問題や課題があると思いますか。主なものを3つまでお答えください。
(複数選択可)

項目	回答数
1 大規模な農業経営者や組織が少ない	71
2 特色ある農産物の生産が少ない	78
3 農産物の加工品が少ない	25
4 高齢化や労働力不足等に伴い管理がされていない農地が増加している	112
5 学校給食などによる地産地消が進んでいない	12
6 食農教育が進んでいない	31
7 朝市や農産物直売所など地元農産物の販売場所が少ない	40
8 グリーン・ツーリズムなど、農家と市民との交流の機会が少ない	30
9 その他	12
総計	411

その他意見（抜粋）

- ・大垣市のみの問題ではなく、日本全体の農業問題が大垣市も直面して居る。
- ・担い手の高齢化や労働力不足が進む中、生産面の省力化だけでなく、出荷・販売・請求といった事務作業の負担増が農家の大きな課題となっているのではないかと推察します。特に直販や地産地消に取り組む農家ほど、多品種・小口の受発注や伝票管理に追われ、本来の生産業務に集中しにくい状況が生じているのは他市の農家を見ればわかります。

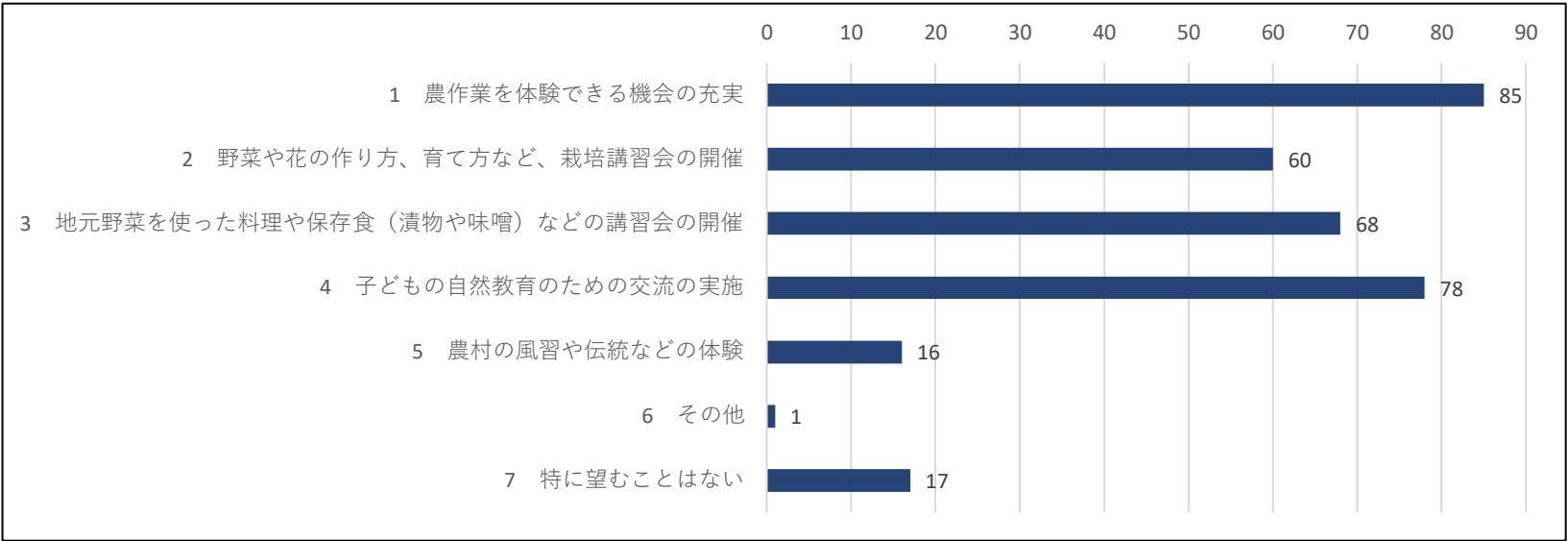


Q12 都市と農村の交流について、望むことは何ですか。主なものを2つまでお答えください。
(複数選択可)

項目	回答数
1 農作業を体験できる機会の充実	85
2 野菜や花の作り方、育て方など、栽培講習会の開催	60
3 地元野菜を使った料理や保存食（漬物や味噌）などの講習会の開催	68
4 子どもの自然教育のための交流の実施	78
5 農村の風習や伝統などの体験	16
6 その他	1
7 特に望むことはない	17
総計	325

その他意見（抜粋）

- ・イベントにとどまらない「継続的な体験・関わり（関係人口の創出）」の仕組みづくり。
- ・農家側の受け入れ負担を減らす「デジタルを活用したマッチングと省力化」。
- ・地産地消・直接購入（直販）へのスムーズな波及。

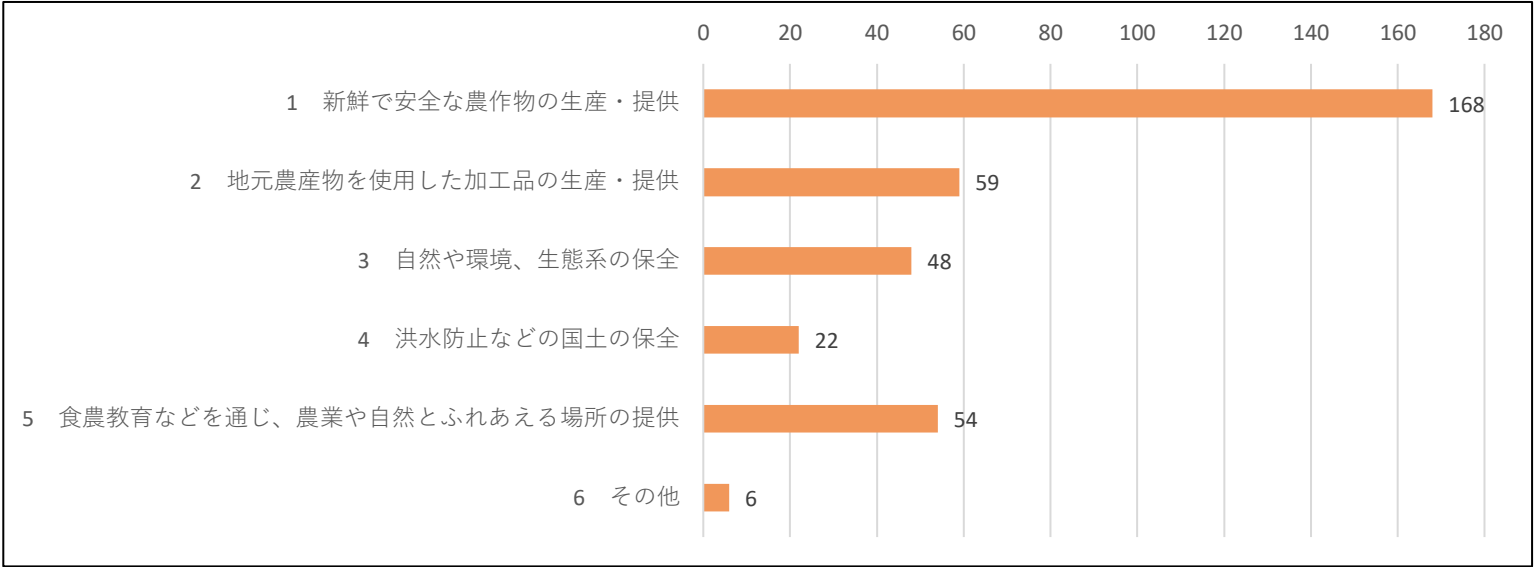


Q13 大垣市の農業や農村に、期待する役割は何ですか。主なものを2つお答えください。
(複数選択可)

項目	回答数
1 新鮮で安全な農作物の生産・提供	168
2 地元農産物を使用した加工品の生産・提供	59
3 自然や環境、生態系の保全	48
4 洪水防止などの国土の保全	22
5 食農教育などを通じ、農業や自然とふれあえる場所の提供	54
6 その他	6
総計	357

その他意見（抜粋）

- ・豊かな食を支える「地産地消・持続可能な食料供給拠点」としての役割。
- ・多角的な価値を生み出す「防災・環境保全・地域コミュニティの基盤」としての役割。
- ・農業をやっても儲かる仕組み作り。
- ・大規模で、効率よく安価に生産すること。

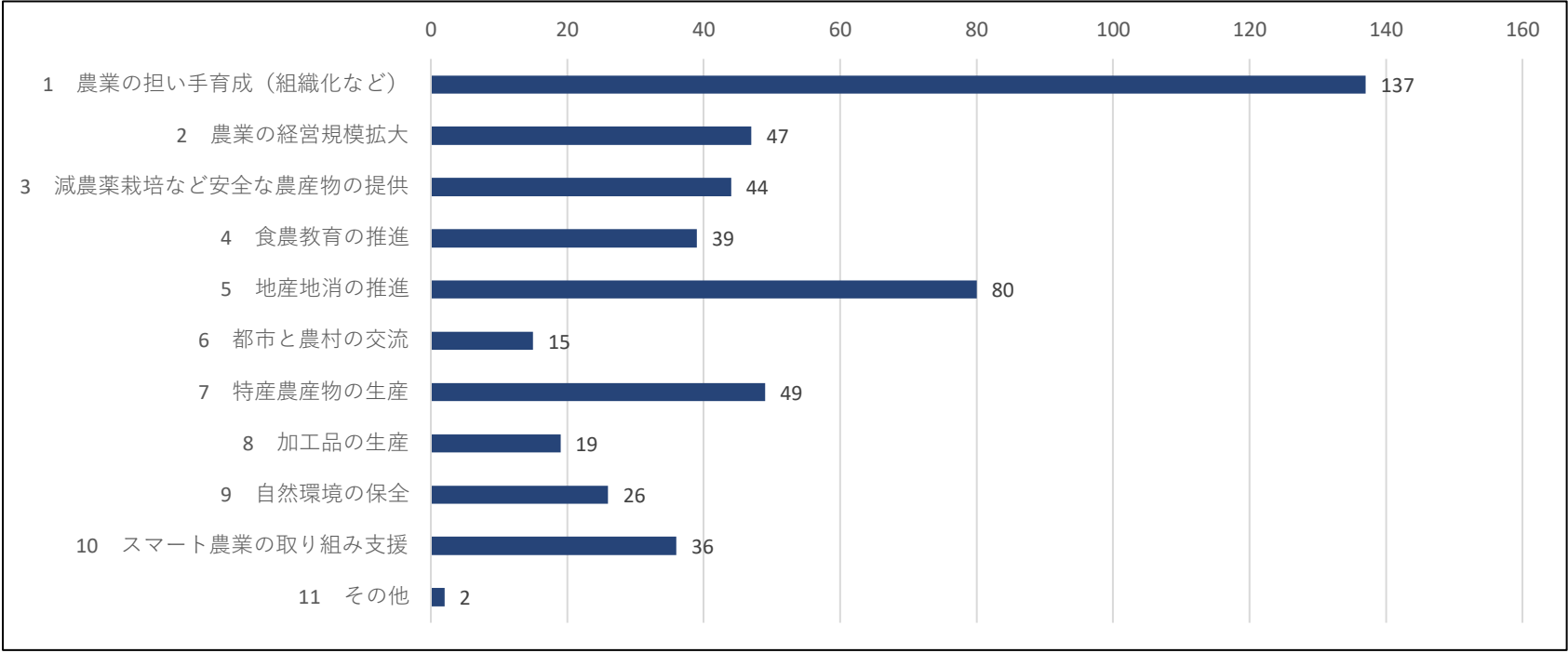


Q14 大垣市の農業を振興する上で、期待することは何ですか。主なものを3つまでお答えください。
(複数選択可)

項目	回答数
1 農業の担い手育成（組織化など）	137
2 農業の経営規模拡大	47
3 減農薬栽培など安全な農産物の提供	44
4 食農教育の推進	39
5 地産地消の推進	80
6 都市と農村の交流	15
7 特産農産物の生産	49
8 加工品の生産	19
9 自然環境の保全	26
10 スマート農業の取り組み支援	36
11 その他	2
総計	494

その他意見（抜粋）

- ・現場主導のデジタル化（流通・事務DX）による農家の生産性と収益性の向上。
- ・地元飲食店・学校給食等と連携した「地産地消・地域内流通」の強力な推進。
- ・新規就農者や小規模・多様な担い手が営農を続けやすい支援体制の構築）。
- ・大垣市ブランド野菜の開発。



Q15 大垣市農業の振興のために意見や提案があれば、ご自由にお書きください。

- ・現状の大垣市の特産農産物のPR（わさび、椎茸、カミツレ、梨、マコモタケ等）。
- ・大垣市の名前を使用した新しい特産物（ブランド）の生産・販売（野菜・酒米・花・地下水や湧水を利用した魚や加工品等）。
- ・若い世代が農業に参入しやすくすることが振興に重要と考える。初期費用や年収のビジョン、金銭や知識・技能などのサポート等を具体的に提示できればよいと思う。
- ・このアンケートをするまで、大垣市と農業というイメージがありませんでした。広報などで梨の農園があるのも最近知りました。市内の人にももう少し地産地消の啓発が必要だと思います。
- ・市場があるのは知っていましたが、一般人が利用できるかもわかりません。ファーマーズマーケットも新しい人が利用しやすいイメージが必要だと思います。
- ・環境も変わって、気温が上昇しているのでこれまでとは違う農産物についても考えてください。
- ・大垣市内に道の駅ができるという話を聞きました。道の駅で、農産物、加工品の販売、美味しい食べ方の紹介などすれば、多くの人々に知ってもらえるのではないのでしょうか。
- ・農家の事務負担軽減と販売力強化を両立する「流通・事務DX」が不可欠です。高額なシステムではなく、高齢者や小規模農家もスマホで直感的に操作できる簡易受発注・出荷・請求管理システムの導入支援を重点施策に盛り込むべきです。
- ・人口減少により後継者不足から廃業されることが予想されます。耕作放棄された農地をまとめて受託できる農業法人を育てておく必要があると思います。
- ・子供に農業の大切さを教育体験させる。
- ・人口減少で耕作放棄地が増えている。また、せっかく作っても、獣害の被害を受けて、収穫できないなど、農作業の意欲を失ってしまう。対策が大変で作らなくなってしまう。何か有効な対策が必要だと思う。
- ・猿、鹿、ハクビシン等々の積極的な駆除を行政にお願いしたい。
- ・河川の水質水量が減り自然環境が悪化しているように感じる。自然環境の保全推進が必要と思う。
- ・使わない農機具の引き取り、レンタル。
- ・生物多様性にも配慮した農業を行ってほしい。
- ・体験の面でも観光農園があれば教育にもレジャーにも使えて楽しみながら農業にかかわれるのではないのでしょうか。
- ・若年者の農業離れを解消するには日本人だけでは出来ないため、外国人の人手に期待する事が大事と思います。外国人の力を求めていく政策を再度、考えてみて。
- ・無農薬野菜、有機野菜の栽培種類を増やしてほしい。
- ・農業従事者の高齢化に歯止めをかける政策が必要と感じます。子育てしながら農業を継続できる、農業者への支援策を充実させてはいかがでしょうか。農業者子育て世代への移住政策、支援。大垣市で農業をするといいことある、魅力をアピールできるとよいと思います。
- ・ある程度の基準は必要だとは思いますが、農業法人の新規参入の敷居を低くする。
- ・農村の住民だけでは水路維持が難しくなっているので、水路清掃のアウトソーシング化や、水路や樋門の更新の迅速化。
- ・稲作をするためには、高額な機械（トラクターとか）が必要なのに、お米の販売額はそこまで高くなく、燃料費も高くなり、機械を購入するための資金が不足してしまいます。せめて、一時期しかつかわないトラクター等運搬用の大型トラックの貸し出しがあるといいですし、農家の機械購入の際、農家への助成があるべきだと思います。